

# 果粒軟化期前のアブサップ®液剤が‘ピオーネ’の果皮色に及ぼす影響

果粒軟化期より前にアブサップ液剤を処理しても、十分な着色促進効果は得られない

## 1. 試験区の構成

供試品種：ピオーネ（12年生、H字型整枝短梢せん定樹）  
1樹に4試験区を設置、3樹反復

試験区	処理日	処理時期	濃度	方法
無処理区	—	—	—	7月1日袋掛け→収穫
果粒軟化期前区	7月1日	袋掛け前（満開後約30日後）	100倍	散布→7月1日袋掛け
着色始期区	7月24日	着色始期（満開約50日後）	100倍	除袋→散布→再被覆

散布方法：100倍に希釈したアブサップ液剤を、ハンドスプレーを用いて約5 ml/1房となるように、果房に直接噴霧した。

## 3. 果房の様子

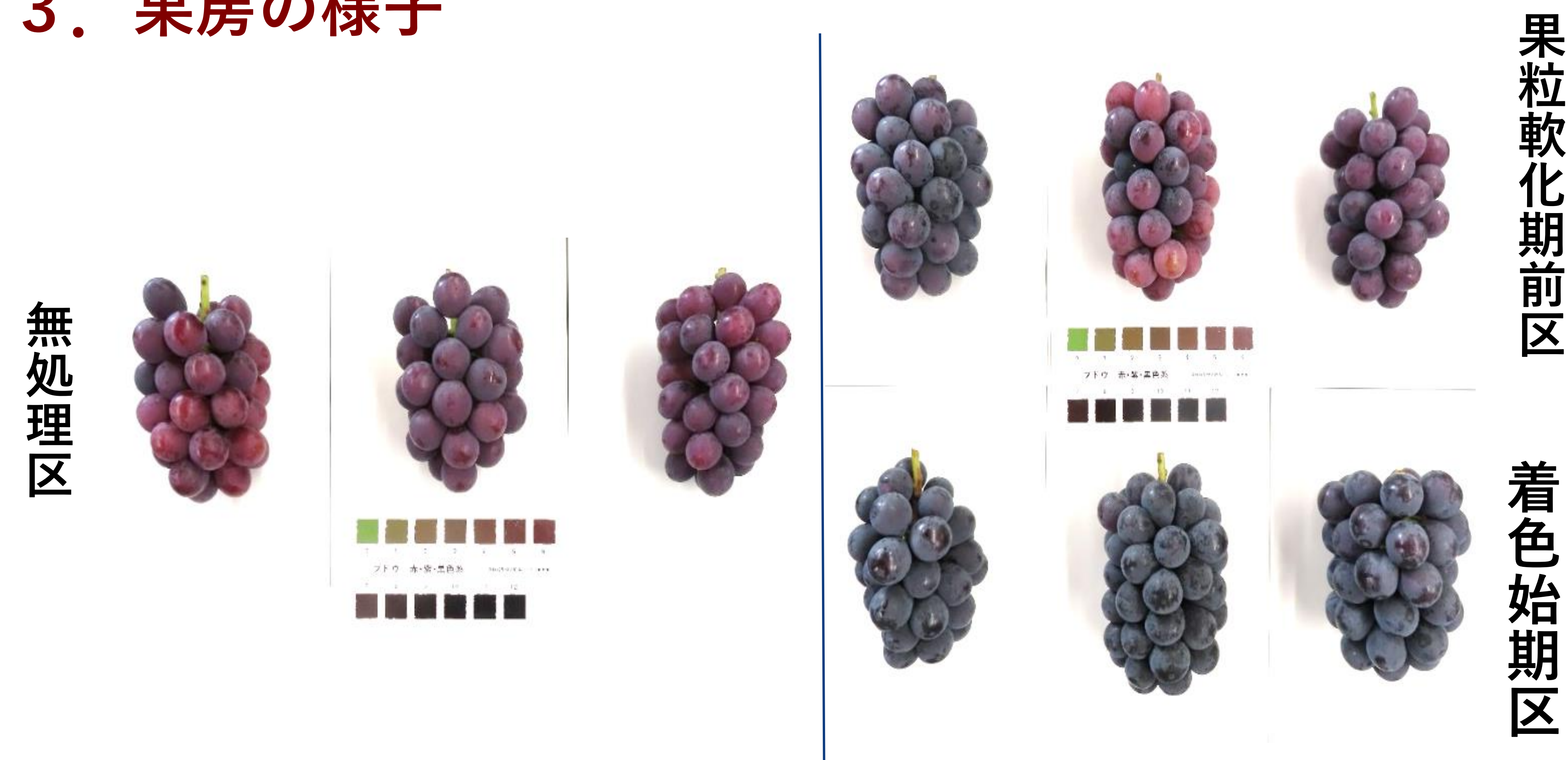


写真1 収穫日（2021年8月27日）における果房の様子

果粒軟化期よりも前に処理した試験区（右上）の果皮色は、着色始期区と比べて着色促進効果が得られていない。

## 2. 果実品質（2021年8月27日時点）

試験区	果房重 (g)	1粒重 (g)	粒数 (粒)	果皮色 <sup>2)</sup> (カラーチャート)	糖度 (° Brix)	酒石酸含量 (g/100ml)
無処理区	536	15.7	34	6.3c	17.7a	0.60a
果粒軟化期前区 <sup>x)</sup>	527	16.0	34	7.0b	16.8b	0.54b
着色始期区	522	15.0	35	8.1a	18.1a	0.51b
有意差 <sup>y)</sup>	ns	ns	ns	*	*	*

<sup>2)</sup>農水省果樹試験場監修の赤・黒色系カラーチャートを使用

<sup>y)</sup>Tukeyの多重検定による（nsは有意差なし、\*は5%水準で有意差有りを示す、n=3）

<sup>x)</sup>登録外使用

## 3. まとめ

○登録条件を順守する。

果粒軟化期よりも以前（果粒に水が回っておらず、まだ硬い頃）にアブサップ液剤を処理しても、等級UPが期待できる十分な着色促進効果は得られません。

**登録条件である着色始期～着色始期2週間後までの処理を心掛けましょう！**

着色が確認できた房から、アブサップ液剤の処理を開始して下さい！

